

## 【速報】都道府県トップは大阪府議会 都議会は順位下げる 「議会改革度調査 2016」ランキング 早稲田大学マニフェスト研究所調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月5日、地方議会の改革度合を把握する2016年度「議会改革度調査」の速報版として、47都道府県のランキングを公開しました。

調査結果から、改革の取り組み度を表す順位は、

**1位 大阪府議会、2位 兵庫県議会、3位 鳥取県議会**でした。  
以下のURLで47都道府県のランキングをお伝えしています。

なお、7月に選挙を控える東京都議会の特集は、6月8日(木)午後の公開予定。都道府県も含めた市区町村全体の2016年度「議会改革度調査ランキング」や調査の全体傾向分析、政令市含む市区町村別のランキングは6月12日(月)以降に公開予定です。ぜひご取材ください。

▽詳細は以下のURLからご覧ください

≫ [http://www.maniken.jp/gikai/2016rank\\_pref.pdf](http://www.maniken.jp/gikai/2016rank_pref.pdf)

早稲田大学マニフェスト研究所 顧問

北川正恭(元三重県知事)のコメント

地方創生時代には、監視機能だけでなく、創造的な政策立案や立法機能が必要だ。執行部の意識改革も必要であり、議会事務局を強化し議会機能を高めるべきだ。

東京都議会も、今回の東京都議会議員選挙が議会改革を進める契機になることを願っている。



### ▼TOP3は1位 大阪府議会、2位 兵庫県議会、3位 鳥取県議会

位	都道府県名	前年比	2015	2014	情報共有	住民参加	機能強化	参考：和※
1	大阪府議会	+2	3位	17位	1位	1位	2位	1位
2	兵庫県議会	-1	1位	7位	2位	1位	3位	2位
3	鳥取県議会	-1	2位	1位	3位	3位	5位	4位
4	三重県議会	0	4位	2位	6位	8位	1位	3位
5	京都府議会	0	5位	3位	8位	6位	10位	6位
36	東京都議会	-1	35位	43位	21位	32位	40位	35位

### ▽大阪府議会の特徴：

- ・ 「住民参加度」を充実させる取組として、**常任委員会、特別委員会での直接傍聴を完全実施した。**
- ・ **高校生を対象とした議員による「府議会出前授業」を5校実施し、議会報告や意見交換した。**
- ・ **府民向けの出前講座も初の試みとして1度開催し府民約100名の参加があった。**
- ・ 政務活動費の不正事案が全国的に相次ぐ中、府議会でも不正事案が生じたことを受けて、学識経験者と議員委員から構成する政務活動費検査等協議会で検討を重ね、**提出書類の見直し、証拠書類の保管など制度改善・チェック機能の強化を図り、再発防止の措置を講じた。**
- ・ **事務局のサポート機能向上のため、職員を衆議院法制局に派遣しているほか、職員研修を定期的実施。**2016年度は、国立国会図書館から講師を招聘してネット検索や文献活用など政務調査の具体的な手法について学んだほか、議場での補助資料を題材としてプレゼンテーションの実践研修を行った。

### 【2016年度調査のポイント】

議会のための議会改革ではなく、「地域課題を解決する議会を目指す取り組み」を特に評価しました。

- (1) 情報共有：視察・政務活動費の徹底公開、広報・広聴に関する効果的な戦略
- (2) 住民参加：請願・陳情者の発言機会、参考人招致、住民からの意見を政策につなげる仕組み
- (3) 機能強化：議会改革のPDCA(計画・実行・評価・改善)、自治体計画の検証、議会事務局の強化

≫ 裏面に「①上位5議会(兵庫県議会、鳥取県議会、三重県議会、京都府議会)の特徴」  
「②ランキング急上昇議会の特徴」「③政務活動費の領収書ネット公開状況」を掲載

## ※表面から続く

## 【①上位5議会の特徴】

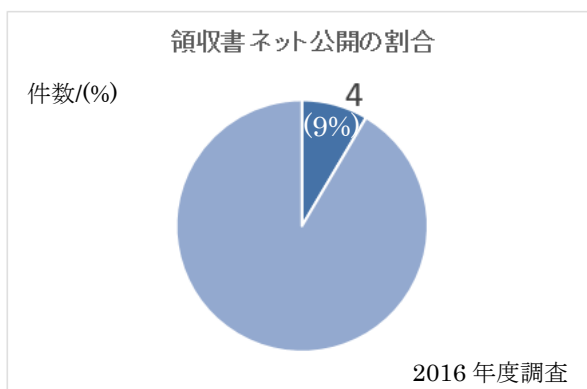
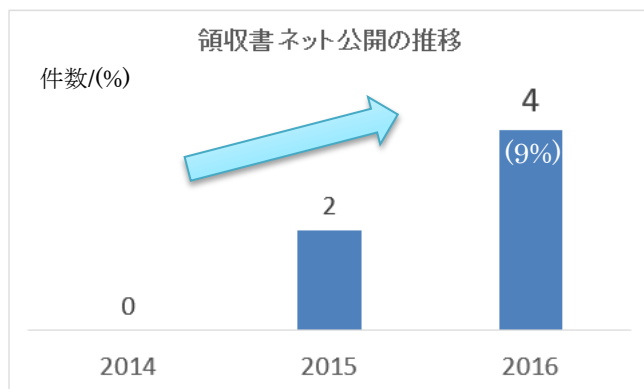
- 2位 兵庫県議会：常任委員会管内調査等において「若い世代との対話」を実施。大学のゼミを受け入れ。
- 3位 鳥取県議会：本会議は希望する議員が全員、一般質問ができる。活発な議論のベースとなっている。
- 4位 三重県議会：常任委員会の取組みを自己評価し、委員会活動の改善に努める評価サイクルを実践。
- 5位 京都府議会：本会議の代表質問（2日間）を京都府北部の舞鶴市で開催し約1,300名が傍聴した。

## 【②ランキング急上昇 議会の特徴】

- ・ 11位 茨城県議会（前年度比 +9）：  
「犬猫殺処分ゼロを目指す条例」「家庭教育を支援するための条例」等、3年間で議員提案条例を5本制定。
- ・ 16位 北海道議会（前年度比 +18）：  
魅力ある地域づくりのため、札幌大学と包括連携協定を締結。委員会ごとに意見交換会を14回実施。
- ・ 19位 富山県議会（前年度比 +11）：  
富山県立大学や富山国際大学と意見交換会を開催。政策討論委員会でテーマを決め県民の前で討論を実施。

## 【③政務活動費の領収書ネット公開状況】

政務活動費に関する不祥事が続き、少しずつではあるが領収書の公開が進んでいる。ネットで公開しているのは、大阪府、兵庫県、徳島県、高知県の4議会。東京都はまだ公開していないが、平成29年度分を平成30年夏から公開することが決まっている。



## ▼議会改革度調査 2016 について

【調査概要】 2017年3月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し、1,347議会が回答（回答率75.3%）。2010年度から今回で7回目の調査となる。

## 【調査目的】

- (1) 全国の議会改革がどのような状況・傾向にあるか、確認する指標として活用する。
- (2) 議会自身が改革度を数値で把握することで自己評価や改善をし、善い政治を競う「善政競争」を促す。

【調査の観点】 議会が果たすべき役割として3つの柱をあげ、改革度を数値化し、ランキング化した。

- (1) 情報共有（本会議などの議事録や交際費・視察結果の公開具合と検証）
- (2) 住民参加（傍聴のしやすさ、議会報告会などの実施、住民意見の聴取）
- (3) 議会機能強化（議会本来の権限・能力を発揮するための機能強化状況）

◇ 今後、「議会改革度調査2016」の新たな情報は下記早大マニ研HPで公開します。

<http://www.maniken.jp/gikai/>

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木  
TEL：03-6214-1315 E-MAIL：[mani@maniken.jp](mailto:mani@maniken.jp) HP：<http://www.maniken.jp/>